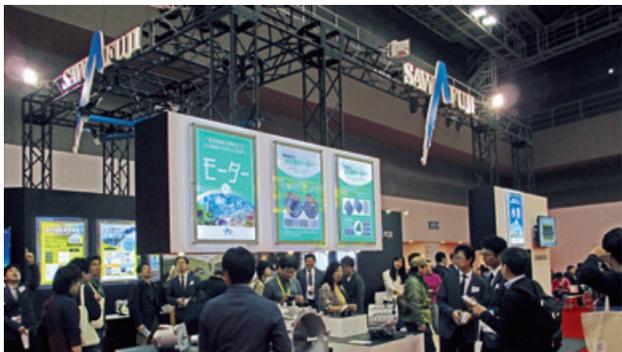


第45回東京モーターショー2017 出展



10月27日から11月5日まで東京ビッグサイトで開催されました第45回東京モーターショー2017に出展をいたしました。

当社は、「くるまの未来に デンキができること。」をテーマに掲げ、プラズマによる水素生成技術や新規開発のハイブリッドローン用超小型軽量発電体・モーターをはじめとする新しい技術を中心に、従来からのHV、EVモーターなどの電装品、発電機、冷蔵庫を展示し、広く当社の技術力をアピールいたしました。

ご来場いただきましたお客さまより、賜りましたご意見・ご要望を今後の技術・製品開発に活かしてまいります。

株式の状況 (2017年9月30日現在)

①発行可能株式総数	80,000,000株
②発行済株式の総数	21,610,000株
	(自己株式 34,610株を含む)
③株主数	3,013名
④大株主	

株主名	持株数	持株比率
日野自動車株式会社	6,535千株	30.29%
株式会社デンソー	2,000	9.27
本田技研工業株式会社	1,300	6.03
澤藤電機従業員持株会	600	2.78
株式会社三井住友銀行	600	2.78
株式会社りそな銀行	500	2.32
株式会社三菱東京UFJ銀行	400	1.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	322	1.49
三井住友信託銀行株式会社	300	1.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	222	1.03

(注) 1. 持株比率は自己株式(34,610株)を控除して計算しております。
2. 株式数、株主数は株式併合前の数値で記載しております。

会社概要 (2017年9月30日現在)

- 英文社名
SAWAFUJI ELECTRIC CO., LTD.
- 設立
1919年5月10日
- 資本金
1,080,500千円
- 事業内容
当社は下記製品の開発・製造・販売を行っております。
●電装品
主としてディーゼルトラック・バス用電装品であります。このほか汎用・船用電装品及び油圧機器用小型DCモーターも扱っております。
●発電機
可搬式発電機及び同製品用発電機です。
●冷蔵庫
各種車両用及び船舶用電気冷蔵庫です。
- 事業所
本社・新田工場
群馬県太田市新田早川町3番地

- 役員
- 代表取締役社長 吉川昭彦
- 代表取締役専務 内野直明
- 常務取締役 田島智仁
- 常務取締役 渡部尚由
- 常務取締役 武藤啓健
- 常務取締役 曾根健央 *1
- 取締役 井上小侯 雅英之 *1
- 取締役 久米原宏之 *1
- 取締役 荒田謙吉 *1
- 取締役 芝山啓司
- 取締役 増田裕陽 二純
- 取締役 久野野賢二
- 取締役 梅原賢一 *2
- 常勤監査役 小佐藤真幸
- 監査役 佐藤幸弘 *2

*1 社外取締役
*2 社外監査役

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月下旬
- 基準日 3月31日
- 定時株主総会の議決権 3月31日
- 期末配当金 以下
- 公告方法 以下の当社ホームページにて電子公告により行います。
<http://www.sawafuji.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
- 上場金融商品取引所 東京証券取引所

INFORMATION

単元株式数の変更及び株式併合について

当社は、2017年10月1日をもって、単元株式数の変更(1,000株から100株に変更)及び株式併合(5株を1株の割合で併合)をいたしました。

株主優待制度

1. 株主優待制度について

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様で、かつ100株以上保有する株主様に対し、QUOカードを年1回、以下の基準により贈呈いたします。

2. 優待内容

100株以上1,000株未満保有の株主様	1,000円分
1,000株保有以上の株主様	3,000円分

3. 贈呈時期

毎年6月の定時株主総会後に発送いたします。

*2017年9月14日開催の取締役会において、上記のとおり株主優待制度の一部変更が決議されました。従いまして、2018年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様より対象といたします。

当社のホームページ

URL <http://www.sawafuji.co.jp/>

第122期
中間株主通信

2017年4月1日～2017年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第122期連結会計年度における中間株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

まずはじめに、このたびは当社連結子会社における不適切な会計処理に関して株主・投資家の皆様をはじめ、市場関係者及び取引先の皆様に、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。当社としましては、全社一丸となり、信頼の回復に努めてまいりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
吉川 昭彦

次に当第2四半期連結累計期間（2017年4月1日から9月30日までの6ヶ月間）につきましてご報告いたします。国内経済は、緩やかな回復が続き、海外経済も、景気を下振れるリスクは依然として残るものの、米国、欧州では緩やかな回復基調が継続し、また、中国、アジア新興国でも持ち直しの動きがみられました。このような経済環境の下、当社グループは各事業の売上拡大に努め、その結果、売上高は前年同期と比べ8億70百万円増の143億99百万円となりました。

事業別の売上高は、電装品事業は、海外向けが堅調に販売を伸ばしたことにより、71億10百万円（前年同期比5億31百万円増）、発電機事業は、自社ブランド発電機「ELEMEX」が中東、アフリカなどの地域で販売増となったことに加え、受託生産している発電機の販売増もあり、42億9百万円（前年同期比2億38百万円増）、冷蔵庫事業は、海外向けの販売減はあったものの、国内向けの販売増に加え、為替の影響があり、28億56百万円（前年同期比1億49百万円増）となりました。

次に利益面では、電装品、発電機、冷蔵庫各事業において増益となったものの、設備投資に伴う償却費の増加、鋼材の値上げの影響及び当社連結子会社における不適切な会計処理についての損失計上の影響等により、営業利益8百万円（前年同期比3億19百万円減）、経常利益1億11百万円（前年同期比1億90百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益74百万円（前年同期比1億30百万円減）となりました。

なお、当社連結子会社における不適切な会計処理について、特別調査委員会による調査を行い、調査報告書を受領し、影響額を算定いたしました。本件にかかる影響額（約2.1億円）については、当第2四半期において一括処理することいたしました。

直前4事業年度の第2四半期連結累計期間を含む売上高及び損益の状況は、図表2「連結決算ハイライト」をご高覧いただきたいと存じます。

先行きについては、国内経済は緩やかな景気回復が期待される一方で、海外経済の不確実性が懸念される中、当社グループは、中期経営方針を掲げ、体質改善と競争力強化を全社一丸となって図り、次世代につながる会社づくりを継続し推進していきます。

経営の重要課題である株主様への配当金でございますが、当期末配当は1株当たり5円を予定させていただいておりましたが、10月1日をもって5株を1株に株式併合を実施いたしましたので、1株当たり25円とさせていただきます。ご迷惑をおかけいたします。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務諸表(要旨)

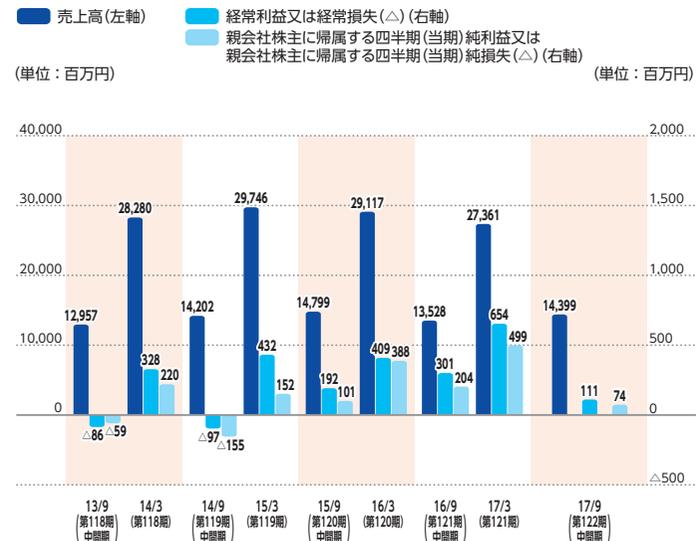
連結損益計算書(図表1)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
		自2017年4月1日 至2017年9月30日	自2016年4月1日 至2016年9月30日
売上高		14,399	13,528
売上原価		13,062	12,000
売上総利益		1,336	1,527
販売費及び一般管理費		1,328	1,200
営業利益		8	327
営業外収益		118	98
営業外費用		15	124
経常利益		111	301
特別利益		41	-
特別損失		4	0
税金等調整前四半期純利益		148	301
法人税等		59	102
四半期純利益		89	198
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)		15	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益		74	204

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結決算ハイライト(図表2)



連結貸借対照表(図表3)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期連結会計期末	前連結会計年度末
		2017年9月30日	2017年3月31日
(資産の部)			
流動資産		12,064	11,955
固定資産		7,551	7,632
有形固定資産		3,613	3,696
無形固定資産		70	82
投資その他の資産		3,867	3,854
資産合計		19,616	19,588
(負債の部)			
流動負債		8,816	8,157
固定負債		2,551	3,317
負債合計		11,368	11,475
(純資産の部)			
株主資本		6,040	6,074
資本金		1,080	1,080
資本剰余金		117	117
利益剰余金		4,851	4,885
自己株式		△9	△9
その他の包括利益累計額		2,138	1,986
その他有価証券評価差額金		2,333	2,325
為替換算調整勘定		134	119
退職給付に係る調整累計額		△330	△458
非支配株主持分		69	52
純資産合計		8,247	8,112
負債純資産合計		19,616	19,588

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(図表4)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
		自2017年4月1日 至2017年9月30日	自2016年4月1日 至2016年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		934	△263
投資活動によるキャッシュ・フロー		△328	△335
財務活動によるキャッシュ・フロー		△34	23
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	△23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		571	△599
現金及び現金同等物の期首残高		1,124	996
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,695	397

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。